

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
～「結」のころ～ 小葉湧水池からの清らかな水が水路を流れ、多様な生き物が共存する環境保全型農業が営まれています。豊かな自然環境は水路清掃などの地域の「結」に支えられ、その魅力が浸透し交流の輪が広がっています。また、篠塚稻荷神社の初午祭では飾り馬の練り歩きや流鏑馬、太々神楽が行われ、世代や地域をこえた結束で継承されています。		・ 思川緑地の再利用（再整備）	・ イノシシの問題対策、先日は 15 頭島田の田んぼにでた		
農家と地域が支える豊かな水田 スマート農業で専業農家は大規模経営を実現し、兼業農家もリモートワークの普及により効率的な農業に取り組んでいます。熟練農家の技術がデジタル化され、農業に挑戦した人を受け入れる協力体制の確立でチャレンジできる環境が整っており、住民も農業の重要性を理解し、地場製品の購入や農作業ボランティアを通じて「豊かな輪」を形成しています。	・ 畑の整理 ・ 道路の路肩の美化 ・ 田んぼの周囲に花を植える ・ ボランティア活動（草刈り） ・ 高齢化した農業の企業化		・ 非農家の手ぶらで参加できる農業 ・ ドローンの活用 農業用のドローンを利用しており、1 人分の耕作地に利用するより、地域全体で利用する方が効率がよいため。 また、ドローンの活用が今後増えていくことが予想され、災害や普段の生活で利用できるようにしたい。 ・ 農道の未舗装部の舗装 ・ 農業後継者を育ててみたい（スマート農業の助成金等）	・ 小山地区から豊かな田園風景を味わいに来てほしい。農業の担い手が心配なので、他地区から興味のある人にきてほしい ・ 他地区の小学校との学校同士の交流で田植え稲刈り体験 ・ 都市部や他地区から人を呼んで田んぼアートの田植え体験	
笑顔で健やかに暮らせるまち あいさつや助け合いを通じて、世代を超えて支え合う温かな地域コミュニティが形成され、豊田小中一貫校を拠点に多世代交流が活発で、放課後は住民が集まって新編・豊田音頭の練習が行われています。また、道路の真心ゾーンやキッズゾーンの整備と共に、自動車の事故防止・軽減システムの普及と運転マナーの向上により誰もが安心して歩ける環境が実現しています。	・ 公民館での写真展開催、ゆくゆくは全国区になれば良い ・ 地域のイベント（コスモス会や堀さらい）に参加する ・ 話し合いの場があるとよい ・ スポーツ吹き矢(スポーツ全般)など身近でやりたい。スポーツを通して横のつながりを増やしたい。 ・ 人とのあいさつ ・ 豊田地区の魅力が分かる散歩コースの作成 ・ 散策マップづくり（お年寄りがよく散歩しているので、どんな風景が気に入っているコースを選んでいるのかを教えてください）	・ イベントを実施し地域コミュニティを活性化 ・ 子どもたちが中心に活動できるイベントを開催 ・ 豊田地区の強みは高校があること。小中高校生を交えたイベントを企画したい ・ 育成会がなくなってしまったので、地域で子どもたちのためのイベントをやりたい ・ 多世代が一緒に活動できることをしたい ・ 同じ地区でも知らないことがたくさんあるので、情報交換をしたい ・ 交流の場で地域の話し合いができるようになればいい ・ 地域内のゴミ拾い ・ そば打ち仲間を増やして地域で交流	・ 島田地区のまちづくり ・ 子どもたちが楽しいと思う公園を整備。放課後やデイサービスに活用 ・ 子どもたちがのびのびと遊べる公園や運動施設がほしい ・ 公園など人が集まる場所にコミュニティセンター ・ 地域の困りごと ・ 前向きな人しか集まりにはこない。出てこない人たちの意見をどのように聞けるか仕組みづくり <u>事情を聞く（困りごとや住民の希望）、さらなる意見を集める</u>	・ 和太鼓の演奏の機会を他地区でもやってみたい ・ 間々田地区の祭りに参加した。今後も他地区とイベントを通して交流したい ・ ご近所だけでなく色々な場所で交流ができ、友人関係を築きたい ・ 子どもたちに昔遊びを教えるボランティア（昔遊びの材料が揃うのも自然が残っていればこそ。地区の魅力である自然を活かすことで、他地区との交流が成り立つ） ・ 両毛線を活用して交流	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
		・ 豊田小学校の校庭でやっている盆踊りを継続していきたい ・ 思川駅周辺の発展、祭りやイベントの開催で駅前を明るく ・ 酒造巡り、ブランド酒を共同開発			
伝統・文化の継承と新たな結び付き 神社仏閣は、地域のアイデンティティーとして魅力と価値が認識され、集落ごとのおはやしは競演や交流を通じて一体感を育み、地域内外に新たなつながりを広げています。「お別火」は時代に合わせて形を変えながら、地区内外や新旧住民をつなぐ交流の場として親しまれています。	・ おべっかで多世代交流	・ 子どもたちに参加してもらっておはやし盛り上げたい	・ 参加できるイベントを増やしたり、補助金等、お囃子会の継承、存続について協力してほしい		
思川駅を中心とした魅力あふれるまち 道路整備により交通の利便性が向上し、日光・那須連山が一望できる思川駅周辺は住宅地として人気上昇しています。空き家活用や移住促進により、新旧住民や子育て世代などの交流でにぎわいを創出しています。また、思川駅前の小さな商店街が復活し、まちカフェやマルシェなどで住民が買い物や交流を楽しみ、ドローンやロボットによる配達で、買い物が困難な世帯の生活不安も解消しています。民間交通や自動運転を活用した自家用車などニーズに合わせた交通手段が確保され、多様な生活スタイルに対応した暮らしやすいまちになっています。	・ ドッグフェスを開催	・ 空き家の敷地内の草取り	・ 思川駅周辺を活性化、思川駅前の商店街に活気が欲しい。学校が近くにあり学生も多く利用するので、コンビニがあると特に良い ・ デマンドバスをみんなが使えるようになればいい。市役所や小山駅、病院、買い物などにバスを使えるように、もっと利便性良くして欲しい ・ 移動販売の促進 ・ スーパーなどの生活必需品の販売所の誘致 ・ 交通利便性の向上。外に行くことで交流を増やし、健康寿命の向上や人とのつながりを持てるようにする。 ・ 思川駅西側の踏切が狭いため広くしたい ・ 生活道路舗装の打ち替え	・ 豊田地区は人口減少気味、他地区からも何らかの方法で呼び込みたい	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
そのほか	・地域の魅力を発信する	自主防災を作りたい。 まずは、小さな隣近所で協力することから始め、いつかは隣の地区など(栃木市も含めて)協力体制ができるとよい。豊田地区の住民は、小山側(駅方面)で災害があれば栃木市に避難することも可能であることから、栃木市との連携も検討したいと話があった。 ・(ワークショップのような場に出てくることを苦手とする人、年齢や体調の問題から出て来られない人なども取り残さず積極的に集めた)住民の意見から、みんなで話し合い希望をかなえ合うコミュニティに →魅力を感じて移住を考える人が出てくるかも	・防災意識を向上	・都市部の商店とコラボしてマルシェを開催したい	